

図画・絵画部門

総評

年々作品の応募点数が増えることは、よろこばしいことですが、賞に限りのあることは、とても残念なことです。それだけに、今年も慎重に選ばせていただきました。

今年の優秀作品をご覧いただいておわかりいただけるかと思いますが、子どもの絵は、子ども自身が生活の中で心に感じたことを絵

で語る、いわば「子どもの心の窓」です。その窓をとおして何か語りかけのある、また、内容のある絵にポイントをおいて選びました。形が整わなくても、画面全体に色がぬられていなくても、自分の心が画面の中にかきあらわされていればよいのです。また来年の応募を期待します。

最優秀賞受賞作品

大造じいさんとがん

群馬県桐生市立境野小学校
六年 高草木ゆみ



「大造じいさんとがん」の物語を読み、最後の場面を絵に描いています。自分の住んでいる町の生活から、おじいさんの生活を想像して、白く雪の残る山や、山すそに広がる桑畑などの情景がえがかれて

ています。また、画面の構成から、おじいさんとがんの「心のかよい」も感じられ、よくまとまった作品です。

優秀賞受賞作品

ひまわり

青森県五所川原市立梅泉小学校
二年 石黒 大登



法光寺

埼玉県伊奈町立小室小学校
六年 葛西 恵子



顕微鏡をのぞく友達
埼玉県川越市立牛子小学校

四年 大野 高幸